

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

「みずすまし」は何の象徴か？

優秀作を選んで投票用紙に記入しましょう。

(01) 野球

01 一滴の水銀のように、小さいのに重いボール。
 02 グラウンドを跳ねて転がっている。
 03 飛んでいく。
 04 そして時折 スラップになる。
 05 あれは予測できない。
 06 フライだけではなく転がること
 07 ぼくらがその上でプレーしている
 08 日常という名の練習を考えるだけで
 09 思い半ばに過ぎよう 日常は分厚い。
 10 スラップに陥った自分
 11 その深さはわずかも
 12 なにほどこが 野球の厳しさに出会う筈。
 13 悩みもがく
 14 野球の奥深さを知っているよう。
 15 してみれば選手が
 16 スラップから抜けてよいプレーをしているのは
 17 感嘆していいこと。
 18 試合で負けること
 19 選手は力をつかいはたし
 20 ショックを受ける
 21 それは次へのステップになる

(02) 命

01 一滴の水銀のように重く
 02 水面を少し凹ませて浮いている
 03 動いている
 04 時々水にもぐる。
 05 あれは暗示的な行為
 06 得るだけではなく失うこと。
 07 ぼくらはその上で生きている
 08 意志という名の水面を考えるだけで
 09 思い半ばにすぎよう 人の意志は強い。
 10 意志と反して沈む命
 11 その深さはわずかも
 12 なにほどこか意志の阻止に出会う筈。
 13 生きたいと願って押し返す
 14 意志の力を知っているよう。
 15 意してみれば命が
 16 意志の表裏を往来し出沒していることは
 17 感嘆していいこと。
 18 命を失いたいと願うと
 19 意志はその力をゆるめ
 20 その命を黙って水底へだきとってくれる
 21 それは命を失いたいという願望

(03) 夢

01 一滴の水銀のように、水の中できれいに輝き重
 02 そうに下へ下へとしずんでいく
 沈まないように浮かびながら

(04) サッカー選手

01 一人のサッカー選手のように元気で
 02 グラウンドの土を凹ませて、走っている
 03 ボールを蹴っている
 04 そして時折、ケガをする。
 05 あれは必然的な行為
 06 攻めるだけじゃなく守る事
 07 選手がグラウンドでプレーをしている
 08 試合という名の洗浄で
 09 気持ちは高ぶるだろう、試合は大切。
 10 ケガをした選手
 11 そのケガはわずかも
 12 なにほどこか、ケガの痛みに出会う筈。
 13 身体を傷つけ、痛みを伴う
 14 ケガの辛さを知っているよう。
 15 意してみれば、サッカー選手が
 16 コートの中を往復していることは
 17 感嘆していいこと。
 18 サッカー選手が引退すると
 19 選手としての役割は終わり
 20 指導者としてグラウンドに戻ってくる
 21 それは、選手が培ってきた技術や知識のおかげ

01 夢へとむかって泳ぎまわる
 02 夢へとむかって泳ぎまわる
 03 夢へとむかって泳ぎまわる
 04 夢へとむかって泳ぎまわる
 05 夢へとむかって泳ぎまわる
 06 夢へとむかって泳ぎまわる
 07 夢へとむかって泳ぎまわる
 08 夢へとむかって泳ぎまわる
 09 夢へとむかって泳ぎまわる
 10 夢へとむかって泳ぎまわる
 11 夢へとむかって泳ぎまわる
 12 夢へとむかって泳ぎまわる
 13 夢へとむかって泳ぎまわる
 14 夢へとむかって泳ぎまわる
 15 夢へとむかって泳ぎまわる
 16 夢へとむかって泳ぎまわる
 17 夢へとむかって泳ぎまわる
 18 夢へとむかって泳ぎまわる
 19 夢へとむかって泳ぎまわる
 20 夢へとむかって泳ぎまわる
 21 夢へとむかって泳ぎまわる

(05) 賞味期限の偽造

01 一滴の水銀のように思ったよりも重く
 02 世の中を凹ませて消費者を騙している。
 03 問題になっっている
 04 そして時折その事実を隠す。

0605それは許せない行為
 07騙すだけなく事実を隠すこと。
 08日常という名の世の中を考えている
 09思い半ばにすぎよう 日常はいろいろなこと
 10がある。
 11事実を隠された賞味期限
 12その罪はわずかも
 13何ほどか世間の阻止に出会う筈
 14偽造がばれテレビで報道される
 15世間の力を知っていない。
 16世間の表と裏を行ったり来たりして何度も報道
 17されることは
 18あつてはならないこと。
 19賞味期限の偽造がなくなると
 20世間はそれを力にゆるめ
 21テレビで取り上げることにはなくなる
 賞味期限を偽造されないことを世間は望んでいる

(5) バスケットボール

01巨大なオレングジのように やや重く
 02床の面を凹ませて 走っている
 03飛び跳ねている
 04そして時折 ボールを奪い合う。
 05あれは戦場的な行為
 06攻める事だけでなく 守る事。
 07ぼくらがその戦場で戦っている
 08本番という名の試合を考えるだけで
 09思い半ばにすぎよう 本番はより厳しい。
 10リングに吸い込まれた バスケットボール
 11一クォーターの時間はわずかも
 12なにほどか 相手の阻止に出会う筈
 13身体を張って 押し返す
 14相手の力を知っている
 15してみれば バスケットボールが
 16コートの前を往復しシユートが決まることは
 17感嘆していいこと。
 18バスケットボールがコートから出ると
 19選手はその力をゆるめ
 20バスケットボールを黙って審判に渡してくれる
 21それは バスケットボールには知らせない選手
 の好意。

(6) 人の病

01心の中におもりがあるように、やや重く。
 02眉間にしわを寄せて、考えている
 03転がりまわっている。
 04そして時折、立ち上がる。
 05あれは決意をしたこと。
 06ずっと悩んでいるのではなく、立ち上がるこ
 と
 07ぼくらはそのを乗り越えている。
 08日常という名の生活の中考えるだけで。
 09思い半ばにすぎよう 悩み事はたくさんある
 10また悩み続ける、私たち。
 11その深さはわずかも。
 12なにほどか、何かのきっかけはあるはず。
 13体を締めつけ、壁にあたる。

14自分の力は知っている。
 15してみれば、私たちが
 16日常の中であつて、私たちが
 17感嘆していいこと。
 18私たちが悩み事を解決すると。
 19体中の力がゆるみ
 20勇気がわいてくる
 21それは、人にはわからない自分の好意

(8) 生活

01一滴の水銀のように人の生活とは重いもの。
 02日常という水面に変化を与えて生活している。
 03自らの時間を過ごしなが泳ぎまわっている。
 04そして時折社会に顔を出す。
 05あれは暗示的な行為。
 06自らの時間だけでなく人と交わり社会の時間を
 07過ごすこと。
 08ぼくらはその上で生きている。
 09日常という名の水面を考えるだけで
 10思い半ばにすぎよう 日常は分厚い。
 11社会の時間は過ぎす生活。
 12その時間はわずかも
 13なにほどかストレスや疲労を覚える筈
 14人と交わり仕事をし我慢する。
 15人と交わり仕事をすれば自らが受ける影響を知
 16ていよう。
 17してみれば生活が
 18日常の楽しいことやツライ事を往来し生活して
 19いることは
 20感嘆していいこと。
 21生活がなくなると
 18社会や人と交わる時間は減り
 19新たな生活を求めるという生活が始まる。
 20それは生活するにはかかせない日常の行為。

(9) 生徒

01一人一人の生徒のようにやや元気
 02床の面を踏んで歩いていく。
 03動き回っている
 04そして時折 教室に戻る
 05あれは強制的な行為
 06遊ぶことだけでなく 勉強すること
 07ぼくらがその校舎で学んでいる
 08日常という名の校舎で学ぶだけ
 09思い半ばにすぎよう 日常は分厚い
 10校舎に入つた生徒
 11その広さはわずかも
 12なにほどか 先生の阻止に出会う筈
 13身体を締めつけ 押し返す
 14先生の力を知っている
 15してみれば 生徒が
 16先生の機嫌をそこなわぬようにしていることは
 17感嘆していいこと
 18生徒が卒業すると
 19先生はその気持ちの奥へしまっておく
 20寂しさを抑えて心の奥へしまっておく
 21それは 生徒には知らせない先生の思い

(一〇) 人生

21 一つの星のように やや重く
 02 日常を踏みしめて 立つている
 03 走りまわっている
 04 そして時折 ふいに飛び立つ。
 05 あれは暗示的な行為
 06 立つだけではなく 飛ぶこと。
 07 ぼくらがその上で生きている
 08 日常という地面を考えるだけで
 09 思い半ばにすぎよう 日常は分厚い
 10 空へ飛び立つ 人生
 11 その高さはわずかでも
 12 なにほどこか 重力の阻止に出会う筈。
 13 身体を重くし 押し返す
 14 重力の力を知っているように
 15 してみれば 人生が
 16 地上を往来し生存していることは
 17 感嘆していいこと。
 18 人生が終わると
 19 重力はその力をゆるめ
 20 精神を黙って宇宙へ解放してくれる
 21 それは人生の最中には知らせてくれない地球の
 好意。

(二) 生きる

21 命は水銀。水とは違い、重みがある。
 02 人は死の上で生きている。
 03 日々、生活している。
 04 そして時折 死んでしまう。
 05 あれは暗示的な行為
 06 生きていくだけでなく 死ぬこと。
 07 ぼくらは生と死の上で生きている
 08 日常という名の人生を考えるだけで
 09 思い半ばにすぎよう 人生は長い。
 10 死のうとする人
 11 その理由は小さくても
 12 なにほどこか生の阻止に出会う筈。
 13 身体をしめつけ死を押し返す。
 14 生の力は大きい。
 15 人間が
 16 生と死を行き来できないのは
 17 感嘆していいこと。
 18 人が死ぬと
 19 生きる力はその力をゆるめ
 20 死へと運んでくれる
 21 それは人には知らせない死の好意

(三) 人の悲しみ

21 一滴の涙のように やや悲しく
 02 目に涙を浮かべて 泣いている
 03 泣きわめいて
 04 そして時折 涙をこらえようと
 05 これは悲しい時やつらい時になつてしまふこと
 06 ぼくらだけでなく 涙をこらえること
 07 泣くだけの心はその上で成り立っている。
 08 涙という一瞬の時間を考えるだけで
 09 思い半ばにすぎよう 人の心は難しい
 10 悲しみに満ちた人々は
 11 その悲しみをわずかでも

(一三) 社会

21 涙をこらえようとする。
 12 心を締めつけ 閉ざそうとする。
 13 人の心を知っている。
 14 人の心を閉ざそうとする。
 15 喜ばせれば 人が
 16 喜怒哀楽の感情が往来していることは、
 17 考えなくともわかる。
 18 人が死ぬと
 19 その人の周りにいた人々は
 20 むくろを見て悲しんでくれる。
 21 それは その人は知らない失ったものの悲しみ。

21 一時間の時間のようには やや重く
 02 社会をまきこみ 浮いている。
 03 お金が泳ぎまわっている
 04 そして時折 裏切る
 05 あれは裏工作だ 逃げる
 06 隠すだけでなく 逃げる
 07 ぼくらがこの社会で生きる。
 08 金という名の紙切れを
 09 思い半ばにすぎよう 社会は分厚い。
 10 闇にもどる 社会の悪
 11 その金はわずかでも
 12 なにほどこか、金の罪が
 13 身体を締めつける罪悪感
 14 金の力を知っている。
 15 社会が闇と光のあいだにいる
 16 社会の表裏を往来し出没していることは
 17 自分がすべて
 18 社会が死ぬと
 19 金はその力をゆるめ
 20 むくろを黙って水底へ死んだ社会を捨てる
 21 それは社会には知らせない新社会への自分の好意

(二七) 人生

01 一筋の涙のように銀白色の光を放ちながら見た
 02 目よりも、ゆつくりと
 03 道なき道を掻き分けて、進んでいる
 04 探している
 05 そして時折、休む。
 06 あれは必然的な行為
 07 進むだけではなく、休むこと。
 08 ぼくらが、そうして生きている。
 09 日常という名の道を考えるだけで
 10 思い半ばにすぎよう、未来は遠い。
 11 道に迷った人
 12 その時間はわずかでも
 13 なにほどこか他人の壁に出会う筈。
 14 言葉の投げつけ押し返す
 15 人の心の壁を知っている。
 16 道に分岐を想像し迷うことは
 17 感嘆していいこと。
 18 人が死ぬと
 19 道は、その先を閉ざし
 20 道程を黙って歴史に残してくれる
 21 それは、人には知らせない道の配慮

(15)陸上競技

21 水銀の落ちる汗
02 春風とともに走り出す
03 無我夢中で走りまわっている
04 そして時折靴ひもがゆるむ
05 これは自然的好意
06 走らなければならぬこと
07 ぼくらは靴のおかげで走れている
08 陸上という名のグラウンドを考えるだけで
09 思い半ばにすぎよう 日常は分厚い
10 雨の中も走るばかり
11 その進歩はわずかも
12 何ほどか自分の限界に出会う筈
13 体がぼろぼろになるうとも走り続ける
14 体の力を知ってしよう
15 してみれば陸上競技
16 暗くなつても何度もグラウンドを往復する
17 感嘆していいこと
18 ぼくらは走っていたグラウンドが失うと
19 ぼくらは走つて止める
20 ぼくらは走つて止めることをあきらめる
21 それはぼくらの希望を失うことになる

(16)人間

21 一滴の水銀のように 思ったよりも重く
02 地面を凹ませて 立っている
03 遊んでい
04 そして時折 病気になる
05 あれは暗示的な行為
06 元気がなくなると 病気になる
07 ぼくらがその上で生きている
08 日常という名の病気を考えるだけで
09 思い半ばにすぎよう 日常は分厚い。
10 病気になる 人間
11 その深さはわずかも
12 なにほどこか 病気の阻止に出会う筈
13 身体を締めつけ 押し返す
14 病気の力を知つていよう。
15 してみれば 人間が
16 病気を往來し生きていることは
17 感嘆していいこと。
18 人間が死ぬと
19 病気が死ぬと
20 病気が死ぬと
21 それは 人間には知らせない病気の好意。

(17)生命

21 一滴の水銀のように沈みそつになりながら
02 生死の境を凹ませて生きている
03 生活をしてい
04 そして時折死に近づく
05 あれは暗示的な行為
06 生きるだけでなく死ぬこと。
07 ぼくらがその上で生きている
08 くり返される日々を考えるだけで
09 思い半ばにすぎよう 日常長い。
10 死に瀕した生命
11 その程度はわずかも
12 なにほどこか生きようとする望みに出会う筈。

13 身体を締めつけ押し返す
14 生きる力を知つていよう
15 してみれば生命が
16 生死の境を往來し生きていることは
17 感嘆していいこと。
18 生命が死ぬと
19 生命が死ぬと
20 生きるようとする望みはその力をゆるめ
21 それは生命には知らせない生きる力の別れ。

(18)心

21 一滴の水銀のようにかがやいている
02 重いが沈むほどではなく
03 考えを巡らす
04 自分の考えを隠す
05 あれは暗示的な行為
06 気持ちが上がったり下がったりする
07 知つていきながら
08 平穩な時間を思っているだけで
09 迷つてしまつた心
10 閉ざしてしまつた心
11 その傷は浅くても
12 人の壁に出会う筈
13 心を締めつけ
14 心の強さを知っているか
15 すると心が
16 社会は表裏変え姿を現している
17 すばらしいこと
18 心が弱まつてしまつと
19 人の壁はなくなり
20 弱つた心を気づかれないように^{いたわ}労り
21 心に知られることのない人の好意

(19)セリ

21 一滴の水銀のよう^に やや軽く
02 羽をおりたためて じつとしている
03 鳴きまくつていく。
04 そして時折 飛んでいく。
05 あれは暗示的な行為
06 鳴くだけではなく 飛ぶこと
07 ぼくらが土の中、木の上で生きている
08 毎日のように 鳴いている。
09 飛んでい^た ミンミンゼミ
10 雨の中^でも
11 嵐になつても
12 嵐になつても 暖める
13 身体を締めつけ 暖める
14 木の力を知つていよう。
15 してみればミンミンゼミが
16 木の上下を往來し出沒していることは
17 せみのことである。
18 ミンミンゼミが死ぬと
19 木は力をゆるめ
20 木は力をゆるめ
21 それは ミンミンゼミに知らせない木の好意